

地方創生

Vol.4 連載

人口ビジョン

人口の動向

- ・現状（2010年 48,270人）で推移すると2040年 34,867人、2060年 25,815人
- ・若い世代の流出と戻りの弱さが課題

人口の将来展望

- ・合計特殊出生率 1.84 を維持
- ・15歳から39歳の各年齢層における純移動率を10%改善

目標人口

2040年……	40,000人
2060年……	30,000人

小林市 Ver. 地方創生総合戦略(案) まとまる

皆様のご意見をお待ちしています。

市の人口は現在、およそ4万7千人。2040年には、およそ3万5千人になると予想されています。急速な人口減少を緩和するために自然減と社会減の双方への対応が必要。市では、これらの問題を解決するために地方創生総合戦略（以下、戦略）を策定しています。今月号では、さまざまな意見や議論を経て戦略の原案がまとまりましたのでお知らせします。

若い世代に着目 仕事の創出を目指す

年少人口や生産年齢人口の減少は、社会や地域経済に大きな影響を与えることが考えられています。戦略では、若い世代が市外に流出して戻ってこないことに着目。各種意向調査などが

ら「若い世代が希望する『しごと』を創る」ことを最優先の施策として取り組みます。

若い世代の『しごと』の創出から『ひと』を呼び込み、『まち』の活性化を図る、まち・ひと・しごこの好循環を目指していきます。具体的には施策推進のコンセ

プトイメージ（11頁）を参照ください。

4つの目標を軸に 先進的な施策を実施

戦略では、この方針を達成するために4つの目標を掲げます。

1つ。「小林に安定した

雇用を作る」。農畜産業者の担い手の育成・後継者の確保、6次産業化の推進、地場中小企業の強化などを行っていきます。

2つ。「小林に新しい人の流れを創る」。情報発信・シテイセールスの推進、移住定住促進のための総合的支援の充実や日本版CCR（継続的ケア）の推進などを行います。

3つ。「小林に住む若い世代の希望を叶える」。出

会の支援、子育て世帯への経済的支援、小児医療体制の充実や教育環境・内容の充実などを行います。

4つ。「時代に合ったまちをつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」。地域連携の推進、安心・安全なまちの実現、情報通信網の充実や

中心市街地の活性化などに取り組みます。

この目標を軸に、これまで市で取り組んだことのない先進的、重点的、横断的な施策を中心にアクションプランを策定し、今後5年間で何を指し、どのように行動していくかを示します。「PDCA（計画・実行・評価・改善）サイクル」により施策を着実に推進しま

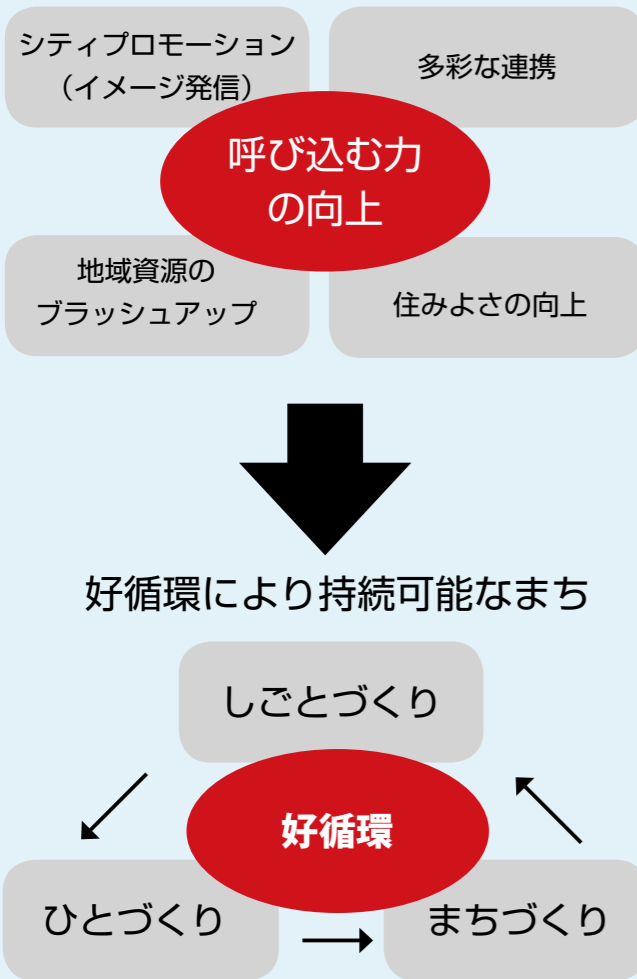
す。

パブリックコメント 10月16日締め切り

10月16日まで、総合戦略（案）のパブリックコメントを行っています。よりよい戦略策定のため皆さんの意見をお待ちしています。

● 問・企画政策課
TEL 23・0456

施策推進のコンセプトイメージ



4つの戦略

- 1 「小林に安定した雇用を作る」
- 2 「小林に新しい人の流れを創る」
- 3 「小林に住む若い世代の希望を叶える」
- 4 「時代に合ったまちをつくり安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」

戦略の方向性

若い世代が希望する仕事創る